

歴史講座 13:30~15:00

講座番号⑥ 光源氏の栄華と終焉(1)
柏木の女三宮かいまみ事件
—唐猫の紐で御簾が巻き上げられる—
日 時: 11月27日(土)
講 師: 伊井 春樹 (当館名誉館長)

講座番号⑦ 特別展「古代文学と伊予国」関連講座
古代文学と伊予国
日 時: 2月23日(水・祝)
講 師: 大本 敬久 (当館学芸員)

講座番号⑧ 光源氏の栄華と終焉(2)
柏木からの女三宮への文を源氏は見つけてしまう
—事件の破局的展開へ—
日 時: 3月19日(土)
講 師: 伊井 春樹 (当館名誉館長)

古文書講座 13:30~15:00

講座番号③ 行政資料からみた近代の城郭①
日 時: 1月15日(土)
講 師: 平井 誠 (当館学芸員)

講座番号④ 行政資料からみた近代の城郭②
日 時: 2月12日(土)
講 師: 平井 誠 (当館学芸員)

考古講座 13:30~15:00

講座番号③ テーマ展関連講座
今治道路建設に伴う弥生時代遺跡の調査成果
日 時: 10月3日(日)
講 師: 松村 さを里氏 ((公財)愛媛県埋蔵文化財センター)

講座番号④ テーマ展関連講座
宇和盆地の弥生時代
日 時: 10月10日(日)
講 師: 高木 邦宏氏 (西予市教育委員会)

講座番号⑤ 愛媛の記念物100年
日 時: 1月30日(日)
講 師: 亀井 英希 (当館学芸員)

民俗講座 13:30~15:00

講座番号③ 愛媛の祭り・行事
—民俗調査・記録の方法—
日 時: 10月2日(土)
講 師: 大本 敬久 (当館学芸員)

講座番号④ 四国遍路の道標石
日 時: 2月19日(土)
講 師: 今村 賢司 (当館学芸員)

申込方法 希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前までにハガキなどでお申し込みください。
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受付可です。

体験講座

講座番号⑥ 「一開張り~かごバッグ作り~」
2回連続講座
定員15名 日 時: 第1回(上張り)12月12日(日) 13:30~15:30
第2回(仕上げ)12月19日(日) 13:30~15:00
講 師: 木城 香代氏 (手仕事工房 雅楽多や主宰)
対 象: 小学生~一般 ※小学生は保護者同伴
参加費: 2,500円
【締切】: 11月28日(日)

講座番号⑦ 「しめ縄作り」
定員20名 日 時: 12月26日(日) 13:30~16:00
講 師: 上甲 清氏 (元宇和わらくろの会会長)
岡本 保氏 (元宇和わらくろの会副会長)
対 象: 小学生~一般 ※小学生は保護者同伴
参加費: 1,000円
【締切】: 12月12日(日)

講座番号⑧ 史跡めぐり「四国中央市の博物館&古墳巡り」
バスツアー
定員20名 日 時: 1月22日(土) 8:00~18:00
対 象: 愛媛県内の小学生~一般 ※小学生は保護者同伴
参加費: 5,000~6,000円(予定)
【締切】: 1月8日(土) ※高低差がある所を歩きます。

特別展「大名の船—海の参勤交代—」関連「海の学び講座」

講座番号① 「大洲藩と松山藩の水軍基地を歩く—大洲市長浜・松山市三津—」
バスツアー
定員20名 日 時: 10月17日(日) 9:00~18:00
対 象: 愛媛県内の小学生~一般 ※小学生は保護者同伴
参加費: 4,000~5,000円(予定)
【締切】: 10月3日(日) ※3~4kmほど歩きます。

講座番号② 秀吉水軍としての加藤嘉明
日 時: 11月7日(日) 13:30~15:00
講 師: 村井 祐樹氏 (東京大学史料編纂所)

講座番号③ 高精細画像から紐解く幕末明治初期の日本
日 時: 11月21日(日) 13:30~15:00
講 師: 谷 昭佳氏 (東京大学史料編纂所)

講座番号④ 「西条藩の水軍基地と西条陣屋を歩く」
バスツアー
定員20名 日 時: 11月23日(火・祝) 8:00~18:00
対 象: 愛媛県内の小学生~一般 ※小学生は保護者同伴
参加費: 5,000~6,000円(予定)
【締切】: 11月9日(火) ※3~4kmほど歩きます。

講座番号⑤ 海を渡る、宇和島伊達家の参勤交代
日 時: 11月28日(日) 13:30~15:00
講 師: 上田 理沙氏 (宇和島市立伊達博物館)

講座番号⑥ 萩藩毛利家の御船手組—「日本最大の海賊」のその後—
日 時: 12月5日(日) 13:30~15:00
講 師: 松花 菜摘氏 (今治市村上海賊ミュージアム)

お問い合わせ 企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL (0894) 62-6222 FAX (0894) 62-6161

開館記念日

11月14日(日)

常設展
特別展
無料

当館は11月で開館27年目を迎えます。
11月14日(日)は常設展・特別展が無料でご利用いただけます。
ぜひ、博物館へお越しください。

展示スケジュール

2021.10~2022.3

2021	10	特別展 「大名の船—海の参勤交代—」 10月16日(土)~12月5日(日) ▶開館記念日イベント 11月14日(日)
2022	1	▶新春イベント 2022年1月2日(日)・3日(月)
2	2	特別展 「古代文学と伊予国—愛媛の文学資料—」 2022年2月11日(金・祝)~4月7日(木)
3	3	▶おひなさまイベント 2022年2月26日(土)・27日(日)

※今後の状況によってはイベント内容を変更、中止する場合がございます。

ご利用案内

■開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
■休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
■観覧料

区分	一般	団体(2割引)
常設展・ テーマ展	大人(高校生以上) 540円 中学生以下 無料 65歳以上 280円	440円 無料 230円

※特別展の観覧料はその都度定めます。 ※団体は20名以上です。
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

Museum Calendar 2021.10-12

10月							11月							12月										
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
					1	2				1	2	3	4	5	6						1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11				
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18				
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25				
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	26	27	28	29	30	31									

愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営: 指定管理者 いよつ総合企画
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話: 0894-62-6222
【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>
●発行日 令和3年9月30日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture News



特別展

大名の船

—海の参勤交代—

令和3年
10月16日(土)
▶12月5日(日)

本特別展では、伊予をはじめとする西国大名の船の姿や海上での大名行列ともいわれる華麗な船行列の様を、絵画史料や古文書を通じて紹介します。また、参勤交代に関連して、大名が設置していた大坂蔵屋敷や江戸屋敷についてもあわせて取り上げます。
瀬戸内海を彩った華麗な大名の船をご覧いただくとともに、本展を通じて伊予水軍の歴史にも思いを寄せていただけたら幸いです。



観覧料: 大人(高校生以上)800円(640円)・65歳以上400円(320円)・小中学生260円(210円) ※()は20名以上の団体料金 ※特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。
休館日: 10月18日(月)、25日(月)、11月2日(火)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月) 開館時間: 9時~17時30分(入館は17時まで)
主 催: 愛媛県歴史文化博物館 特別協力: 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」 後 援: 愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・NHK松山拠点放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・ケーブルネットワーク西瀬戸・八西CATV・西予CATV・宇和島ケーブルテレビ・FM愛媛・FMがいが

歴史

かとうよしあきしよじょう 加藤嘉明書状

年代：慶長11(1606)年2月23日
法量：縦15.0cm×横43.5cm
所蔵：当館蔵



松山城主加藤嘉明が、大和(奈良県)龍田城主片桐且元へ宛てた書状です。「石舟」を播磨(兵庫県)姫路城主池田輝政と紀伊(和歌山県)和歌山城主浅野幸長が50艘派遣したが、自分に50艘は多いのでまずは30艘を派遣したいと伝えています。

慶長8(1603)年に幕府を開いた徳川政権は、本拠江戸城の普請を天下普請として諸大名に命じ、慶長11年には西国の大名によって、3,000艘もの石船を用いて伊豆(静岡県)から江戸へ石垣石材輸送が開始されました。本書状は、この時の「石舟」派遣に関する1通です。

嘉明は、まずは30艘としています。池田52万石余、浅野37万石余に比べ、嘉明20万石という、当時の国力の差に由来するのでしょうか。5月には、石材を輸送中だった諸大名の船が数百艘も大風で破損し、嘉明の船も46艘が被害を受けたといます。派遣した30艘の中にもこの海難に遭った船があったかもしれません。嘉明はじめ諸大名にとって、負担は大きかったことでしょう。

宛先の片桐且元は、嘉明とともに「賤ヶ岳の七本槍」に数えられる豊臣家直参の武将で、当時は豊臣家老として徳川家との仲介に尽力し、江戸城普請にも畿内からの人材派遣などで協力しました。豊臣・徳川が並び立つ時代に、加藤・池田・浅野・片桐たち西国の豊臣恩顧大名たちが、徳川の江戸城普請に動員される中で互いに連絡を取り合っていた様子うかがえます。

ちなみに、嘉明は実名・花押を生涯でそれぞれ4種類使用しました。本書状の署名は「吉明」で、前年以降に「茂勝」から改めた実名ですが、この花押の型は翌年までに使用をやめて別型に変えます。つまり、「吉明」とこの花押の併用期間は短く、本書状は現在確認できる唯一の事例で、その意味でも貴重な1通です。

(専門学芸員 山内治朋)

※「加藤嘉明書状」は、特別展「大名の船—海の参勤交代—」で展示します。

歴史

幕府大奥女中からの書状

年代：江戸時代(幕末)
法量：縦36.3cm×横50.0cm
所蔵：当館蔵

用紙全体に散らばった文字。行の高さを揃えずに斜めに文字が書き継がれています。大きい文字と小さい文字を使い分け、リズムカルな印象を受けます。一体誰が書いたものなのでしょうか。

そのヒントは左下にあります。そこには万里小路・飛鳥井・瀬川・たぎ(瀧)山・花嶋・大さき(崎)が連署しています。彼女たちは、いずれも幕末の将軍付きの上臈御年寄をつとめた奥女中になります。宛先は連署の上であり、「貞寿院」という名前が記されています。貞寿院は田安德川家3代齋匡の娘鏝姫のことで、文政2(1819)年に松山藩11代藩主の松平定通に嫁んでいます。天保6(1835)年の定通の逝去後に剃髪、貞寿院と名乗り、万延元(1860)年に亡くなるまで、松山藩の江戸屋敷で暮らしています。つまり、本資料は幕府大奥から松山藩の奥向きに宛てた書状ということになります。



6月1日は、江戸では「氷室の御祝儀」と呼ばれ、加賀藩邸の氷室から将軍家に氷献上が行われる日とされていましたが、その「氷室の祝儀」の書状を貞寿院が書いたのに対して、書面に一際大きく「公方様、天璋院様」の文字があるように、13代将軍徳川家茂と12代将軍正室の天璋院に代わって、大奥の御年寄が返書として認めたものと考えられます。

大奥の御年寄による書状は、天璋院(篤姫)の実家であった薩摩藩の奥向きに宛てたものなど、わずかしが現存していませんが、本書状は、御三脚の姫君を正室に迎えた松山藩も、大奥との日常的な交流があったことを物語る貴重な史料といえます。

(学芸課長 井上 淳)

※「幕府大奥女中からの書状」は特別展「大名の船—海の参勤交代—」で展示します。

ワークショップのお知らせ

「古銭をつくろう!!」



日本で使われた貨幣の一つ「和同開珎」の鑄造体験を行います。

日時 10月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日) **4日間限定!!**
10:00~11:30(限定8組)/13:00~15:30(限定12組)
材料費 3枚で600円(友の会会員は会期中1回のみ500円)

テーマ展「東子と南子の弥生文化と青銅器」関連ワークショップ 「昔の鏡をつくってみよう!!」

特殊な金属を溶かして古代鏡を作ります。



日時 10月16日(土)~12月5日(日)の土・日・祝日
10:00~11:30(限定12組)/13:00~15:30(限定18組)
材料費 1枚1,000円(友の会会員は会期中1回のみ900円)

れきはくのあしあと

7月10日(土)から始まった特別展「ふわふわシナモロール展」。たくさんのお客様にご来館いただきました。特に好評だったのは「シナモロール 素焼きめりえ」で、幅広い年齢層の方に楽しんでいただきました。参加者は松山南高校砥部分校の生徒さんの見本から想像力を膨らませて、個性的な作品を作られていました。

小さなお子さまには「デジタルめりえ」が人気で、自分が塗ったシナモロールの缶バッジをその場で付けて、嬉しそうにしている姿が多く見られました。シナモロール展のチケットで常設展も観ることができたので、今回の特別展をきっかけに常設展に初めて入っていただいた方もたくさんいらっしゃったようです。SNS等でシナモロール展の感想と共に常設展示が楽しかった!という投稿をされているのを見かけ、改めて若い世代の方にも気軽に博物館に来ていただけるような雰囲気を作っていきたいと感じました。



特別展

大名の船

—海の参勤交代—

関連イベント

サテライトシンポジウム

「大名の船—海の参勤交代—」

先着140名、参加無料、申込不要

日時/10月31日(日) 13:00~17:00

場所/新居浜市 愛媛県総合科学博物館 多目的ホール

プログラム

講演 「勤番武士の江戸滞在生活」

岩淵 令治氏(学習院女子大学 教授)

報告1 「阿波の水軍森家と徳島藩」

根津 寿夫氏(徳島市立徳島城博物館 館長)

報告2 「西条藩主松平頼純の生涯と国入りの船行列」

前田 正明氏(和歌山県立博物館 学芸課長)

報告3 「小松藩の参勤交代」

井上 淳(愛媛県歴史文化博物館 学芸課長)

ダンボールで大名の船をつくろう!

日時
会期中(10/16~12/5)毎日
※先着2,000名
受付時間:10:00~11:30
13:00~15:30

場所:エントランスホール

※特別展「大名の船」を観覧後、アンケートにご記入いただくと参加できます。※出来上がりは白地です。色は各自でお塗りください。

